



第7回山口市総合計画策定協議会 説明資料



【目 次】

I 第6回山口市総合計画策定本部会議以降の状況

1 第6回策定協議会（10/6）における御意見等	1
--------------------------	---

II まちづくりの状況

1 「協働・行政」分野

(1) 政策の位置づけ	4
(2) 施策体系	5
(3) 各施策の成果指標の状況	6
(4) 地域活動の推進	9
(5) 市民活動の推進・市民参画によるまちづくり	10
(6) 自分らしく活躍できる人権を尊重するまちづくり	11
(7) 「計画的、効果的な行政経営」、「公正、確実な事務と市民サービスの向上」	
① これまでの取組	12
② デジタル田園都市国家構想	14
③ スマートシティの推進	15
④ マイナンバーカードの人口に対する交付枚数率	16
⑤ 大学との連携	17

III 今後の予定

1 策定協議会の今後の予定	19
2 後期基本計画策定のスケジュール	20

I 第6回山口市総合計画策定本部会議以降の状況

1 第6回策定協議会（10/6）における御意見等

- 新駅の設置について、市が主体的に交通の整備に関わっていくことは非常にいい取組だと思う。新駅からその先の中園町周辺へのアクセスや、そのほかの駅のバリアフリー化など、「ネットワーク」として整備を進めていただきたいと思う。
- 公共交通について記載がある中、自転車の活用についてはあまり触れられていないように思う。特に、自転車道の整備について検討いただきたいと思う。
- 山口県立大学南キャンパスの跡地活用について、県立大学の学生からは、生鮮食品を買えるところがない、娯楽がないなどという話を聞く。行政や個人事業主がうまくマッチングして、面白い取組ができないかと思う。
- 「人間中心の地域社会の構築」という記載について、誤解を招かない表現を検討することが必要と思う。また、気候変動対策や地域脱炭素の取組推進をより持続可能な地域づくりにつなげていくことが必要と思う。
- 人間のことと環境のことは対立するもの、あるいは、並行して進めていくものという考え方が一般的かもしれないが、ヨーロッパでは統合して考えるようになってきている。別のものとして考えるのではなく、一緒に考えていくことが必要と思う。
- 人口減少時代に、大内の農業試験場跡地と宮野の県立大学南キャンパス跡地という大規模な土地空間の利活用を検討するようなことは、山口市のまちづくりにおいてまたとない好機と思う。市民の期待も大きいと思うので、検討の方向性についてもっと発信していく必要があると思う。
- 山口市民会館について、施設全体の利活用の見直しやバリアフリー化、機材の最新化等の検討が必要だと思う。
- 公立中学校における部活動の地域移行に向けて、文化協会等との連携は重要となってくると思う。
- 今の時代の文化、芸術は、音楽や技術だけではないということを感じているので、デジタル技術の進展等も含めて、芸術や文化、アートという言葉について再定義をしていく必要があると思う。

- 文化に触れることは、学生であれば研究への好影響、また、社会人であれば仕事や働き方にも良い影響を与えると思う。ただ、なかなか時間が確保できないということも感じている。こうしたことは、例えば、学生であれば、経済的な事情でバイトもしないと大学に通えないというような、様々な問題とつながっているのではないかと思う。
- レノファ山口がまちの中にしっかり根付いていくことが必要だと思う。サッカー専用スタジアムの建設についても検討が必要だと思う。
- 広島カープのファンは、カープの勝敗に関わらず応援しており、カープがどこに行っても共通の話題となっている。それがスポーツが地域にあることの価値だと感じており、レノファ山口が地域の人同士が仲良くなるきっかけとなるような存在となり、より良い未来が描けるといいと思う。
- 企業のニーズを踏まえつつ、小郡、山口両都市核の強みを生かした企業の誘致活動が必要だと思う。
- 山口市がゼロカーボンシティ宣言をしているので、地域金融機関においても、環境に配慮した企業の取組に対する融資など、引き続き力を入れていただきたいと思う。
- 宇部と山口の間である新山口駅でゲストや企業等をお迎えすることが多いことから、様々な連携事業を小郡都市核でも行ってほしいと思う。
- 計画策定後も、20年後、あるいは50年後に、未来の子ども達にどんな山口市をつないでいけるかということを議論したほうが良いと思う。
- 時代が変わっていく中、来年20周年を迎えるYCAMを始め、開設当初の役割が果たせているのかということや協議、研究、検討すべきではないか。こうしたことは、その場の議論で終わるものではないと感じており、検討を繰り返していくということが大事なことだと思う。

Ⅱ まちづくりの状況

1 「協働・行政」分野 (1) 政策の位置づけ

第二次山口市総合計画（基本構想）における

5つの政策分野



都市政策の柱

第3回

個性と安心の21地域づくり

第5回

広域県央中核都市づくり

(2) 施策体系

政策グループ5

市民と共に創る 自立したまち **「協働・行政」**

施策5-1 地域活動と市民活動の推進

施策5-2 市民参画によるまちづくり

施策5-3 自分らしく活躍できる人権を尊重するまちづくり

施策5-4 計画的、効果的な行政経営

施策5-5 公正、確実な事務と市民サービスの向上

(3) 各施策の成果指標の状況

施策5-1 地域活動と市民活動の推進

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
基本事業								
地域活動と市民活動の推進	日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合	%	58.2	59.2	57.1	59.8	60.5	63.0
	地域活動や市民活動に、年1回以上参加している市民の割合	%	54.5	52.5	54.2	42.7	42.8	60.0
	住んでいる地域での良さや課題が地域住民の間で共有（認識）されていると思う割合	%	42.8	44.1	43.5	42.8	42.1	46.0
1 市民主体のまちづくり	地域づくり協議会が実施した地域課題解決事業数	事業	477	457	434	371	407	500
	地域で実施したワークショップ等の「話し合い」の場の設置回数	回	104	171	157	138	117	125
	NPO法人数	団体	83	86	84	87	85	90
2 活動しやすい環境の整備	市民活動支援センターの利用者数	人	27,714	23,583	21,006	21,768	29,518	28,000
	地域交流センターの利用者数	人	532,671	512,164	498,973	289,739	324,676	540,000

施策5-2 市民参画によるまちづくり

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
基本事業								
市民参画によるまちづくり	まちづくりや市民参画の活動に参加している市民の割合	%	22.7	25.0	23.6	18.1	17.6	26.0
	市政に市民の声が反映されていると思う市民の割合	%	29.5	42.1	38.6	42.7	43.4	33.0
1 市民との情報共有化の推進	行政の情報が十分に伝わっていると思う市民の割合	%	86.3	83.8	85.5	87.3	87.5	88.0
	市政情報を伝える媒体・手段数	個	9	9	9	10	10	10
2 市民の声が届く広聴の推進	市に意見を伝える手段や場が身近にあると思う市民の割合	%	68.2	67.9	68.3	71.7	70.8	72.0
	市民の意見を収集する媒体・手段数	個	11	11	11	11	11	12

施策5-3 自分らしく活躍できる人権を尊重するまちづくり

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
基本事業								
自分らしく活躍できる人権を尊重するまちづくり	男女共同参画が実現されていると思う市民の割合	%	50.3	52.8	51.9	54.2	52.8	65.0
	人権が尊重されているまちであると思う市民の割合	%	67.8	68.4	69.7	72.0	72.6	75.0
1 人権意識の向上	人権が侵害されたことがあると思う市民の割合	%	19.1	20.0	20.4	17.8	19.1	15.0
	人権学習講座を自分から受講した人の割合	%	51.7	55.8	53.5	50.0	55.0	58.0
	人権尊重の理解を深めた講座受講者割合	%	80.7	86.5	86.4	86.4	92.3	88.0
2 人権擁護の啓発・推進	人権が侵害されたことがあると思う市民が、第三者に相談した割合	%	46.6	43.7	44.7	46.0	45.3	49.7
3 男女共同参画の推進	審議会等の女性委員登用率	%	23.9	26.6	27.5	27.6	28.4	35.0

施策5-4 計画的、効果的な行政経営

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
基本事業								
計画的、効果的な行政経営	公共施設が利用しやすいと思う市民の割合	%	56.9	58.1	56.8	61.7	61.7	60.0
1 効果的な行政経営システムの確立	行政情報化で効率化が図られたと思う職員割合	%	91.5	91.5	90.3	81.3	81.9	95.0
	2 健全な財政運営の推進	実質公債費比率	%	4.8	4.7	5.1	5.4	5.6
将来負担比率		%	26.8	23.5	37.4	56.0	60.7	100未満
財産貸付収入額		千円	44,501	46,165	49,280	43,307	47,648	45,000
市保有財産の売却額（累積）		千円	0	160,109	173,361	214,562	337,549	300,000
庁舎・施設の維持管理・不具合トラブル件数		件	150	151	148	159	97	200
3 効果的な組織体制の充実	正規職員の人数	人	1,687	1,693	1,708	1,709	1,700	1,700を基準
	管理職に占める女性職員（一般行政職）の割合	%	6.4	7.7	7.7	8.7	10.0	10.0

施策 5-5 公正、確実な事務と市民サービスの向上

施策 基本事業	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
公正、確実な事務と市民サービスの向上	公平・確実な事務が処理されず、市民に迷惑をかけた件数	件	7	3	9	6	8	3
	行政サービスの事務手続きは、正確でスムーズだと思う市民の割合	%	78.0	79.8	78.9	78.0	78.7	82.0
1 契約・監理事務	工事成績評価が異常に低かった件数（60点以下）	件	0	0	0	0	0	0
2 課税・徴収事務	課税・徴収を誤った件数	件	0	0	0	0	0	0
	市税の徴収率（現年課税分+滞納繰越分）	%	94.73	96.06	96.49	95.80	96.98	94.85
	市税の徴収率（現年課税分：当該年度課税したものを対象）	%	98.88	99.10	99.15	98.19	99.34	98.95
3 会計処理事務	会計処理トラブル件数	件	0	0	0	0	0	0
4 議会事務	議会に関する事務処理ミス・トラブル件数	件	1	0	0	0	0	0
5 選挙事務	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数	件	0	1	3	0	2	0
6 監査事務	重大な指摘の件数	件	0	0	0	0	0	0
7 個人情報の管理と保護、発行事務	個人情報漏えいにつながる山口市WANへの不正侵入件数	件	0	0	0	0	0	0
	住民基本台帳・戸籍事務での処理誤り件数	件	0	0	0	0	0	0
8 文書管理事務	文書管理上のトラブル件数	件	2	1	0	0	0	0
9 情報公開事務	情報コーナーへの設置資料数	件	151	191	130	150	176	160

(4) 地域活動の推進

- ・ 移住・定住に向けた取組、自治会や地域づくりに関する取組、地域交流センターの機能強化等については、第3回策定協議会(個性と安心の21地域づくり)にて検討済み。
 - ・ 移住・定住に向けた支援
(移住の準備活動のための交通費や滞在費の支援、移住ツアーやセミナーの開催等)
 - ・ 空き家、空き地バンクの展開による移住・定住の受け皿づくり
 - ・ 空き家を活用した交流人口の創出事業への支援
 - ・ 外部人材を活用した地域活性化の取組
(地域おこし協力隊の起用、地域活性化起業人の受入)
 - ・ 地域資源を活用した商品開発や
交流人口の拡大につながる取組への支援
 - ・ ふるさとにぎわい計画の取組
 - ・ 自治会等自治振興交付金の交付
 - ・ 地域づくり交付金、地域の未来づくり促進特別交付金の交付
 - ・ 自治会長情報交換会の開催
 - ・ 地域交流センターの機能強化の取組
- など



「長門峡梨」を使用した新スイーツ
「長門峡梨パイ」の開発



地域の未来づくり促進特別交付金の活用事例
市指定無形民俗文化財
「十二の舞 解説と口上」編集事業(秋穂地域)

(5) 市民活動の推進・市民参画によるまちづくり

- ・ 市民活動支援センター「さぼらんて」における市民活動への支援
- ・ 市公式ウェブサイトや市報における市政情報の発信
- ・ テレビやラジオによる多面的な広報活動に加え、山口市LINE公式アカウント開設による発信ツールの強化
- ・ 山口県央連携都市圏域における「圏域情報発信プロジェクトチーム」の取組
- ・ 移動市長室の開催 など



全国広報コンクール 入選
(市報やまぐち2020年8月合併号 表紙)

【市政情報を発信しているメディア等】

テレビ

- ・ 私たちのまち山口(tys) 毎週日曜 11:40~4分間
- ・ やまぐちしま専科(yab) 毎週水曜 9:55~4分間
- ・ 発見!やまぐち(c-able) 毎日本編15分+字幕放送5分
(放送時間は曜日により異なる)

ラジオ

- ・ シティーインフォメーション(FM山口) 月・金曜 9:25~9:29
- ・ やまぐちマイタウン(KRY) 毎週木曜 13:40~13:45

山口市LINE公式アカウント



圏域情報を「週末ちぐまや家族」(tys)で発信

山口市 LINE 公式アカウント を開設しました!

山口市 × LINE

【メニューボタンから探すことができる情報】

- 休日当番医・お医者さん
- イベント情報
- 行政手続きの方法
- 防災・災害情報
- ごみ分別方法
- 市報やまぐち

【メッセージとして受信できる情報】

- 防災情報
- 防犯・交通安全情報
- 地域からのお知らせ
- 新型コロナウイルス感染症関連情報

友だち登録から始めよう!

- アカウント名 山口市
- LINE ID @yamaguchi-city

上の二次元コードを読み取るか、LINEのホーム画面から「山口市」を検索して友だち登録をしてください。

山口市LINE公式アカウントの開設

- ・ 更なる市民活動の活性化に向けた取組の必要性
- ・ 市政情報へのアクセシビリティ(年齢的・身体的条件に関わらず情報にアクセスし利用できること)の引き続きの対応の必要性

(6) 自分らしく活躍できる人権を尊重するまちづくり

- ・ 人権問題について理解を深めるための講演会の開催
(人権ふれあいフェスティバル、山口市人権学習講座など)
- ・ 人権教育推進委員会の委員を対象とした研修会等の実施
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた取組
(情報誌「live」の発行、男女共同参画を推進する女性団体等が実施する講演会、研究会等への支援
山口市男女共同参画センターを拠点としたイベントや講座の実施 など)



人権ふれあいフェスティバルにおける講演



人権教育推進委員の研修会の様子



- ・ 障がい者、外国人、性的マイノリティなど、様々な人々が分け隔てなく暮らしていける共生社会の実現に向けた引き続きの取組の必要性

(7) 「計画的、効果的な行政経営」、「公正、確実な事務と市民サービスの向上」

① これまでの取組

・ デジタル分野については、第2回策定協議会における田中委員からの話題提供にて一部検討済み。

・ デジタル行政の推進

(粗大ごみ戸別収集受付のデジタル化、住民異動手続におけるタブレット端末を活用した「書かない窓口」機能の導入、山口市LINE公式アカウントの導入、24時間365日いつでも問い合わせ可能なAIチャットボットの導入など)

・ 市有財産の有効活用に向けた取組

・ 本庁舎整備に向けた取組

・ 徳地総合支所及び阿知須総合支所の整備

・ 行政経営の推進に係る取組

・ まちづくりアンケートの実施による事業評価

・ 山口市定員管理計画に基づく適正な定員管理の実施

・ RPAやAI等のデジタル技術を活用した業務の効率化に向けた取組

・ 第二次山口市行政改革大綱 後期推進計画の策定に向けた取組

・ シティセールスの推進

窓口における待ち人数リアルタイム表示機能



受付番号の発券



待合状況等を表示するモニター



各種届出
現在、
待ち人数: 0人
呼出番号: 403

Webからも状況確認が可能!

など

- ・電子入札の運用(工事は令和3年度から、建設コンサルタントは令和4年度から開始)
- ・市税等の適正な賦課、徴収事務
- ・電子納付の推進に向けた取組(令和元年度から順次開始)
- ・正確で迅速な会計処理の遂行
- ・市議会の適正かつ円滑な運営
- ・正確で公正な選挙事務の遂行
- ・情報公開条例に基づく情報公開請求への対応
- ・マイナンバーカードの普及促進に向けた取組
など

窓口で利用可能なキャッシュレス決済

クレジットカード	JCB、AMEX、ダイナース、ディスカバー、VISA、マスター
電子マネー	nanaco、WAON、楽天Edy、QUICPay、Kitaca、Suica、PASMO、toica、manaca、ICOCA、SUGOCA、nimoca、はやかけん
バーコード	PayPay、LINEPay、d払い、メルペイ、ALIPAY、WechatPay【追加予定(令和4年度)】auPay等



- ・デジタル技術を活用した定型業務の省力化と相談業務などの対人サービスの強化に向けた引き続きの取組の必要性
- ・新本庁舎の整備にあわせた行政窓口の再構築や機能強化の必要性

② デジタル田園都市国家構想

・ 国においては、地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていくことで世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、構想の具体化を図るとともに、デジタル実装を通じた地方活性化を推進することとされました。

デジタル田園都市国家構想の取組イメージ全体像



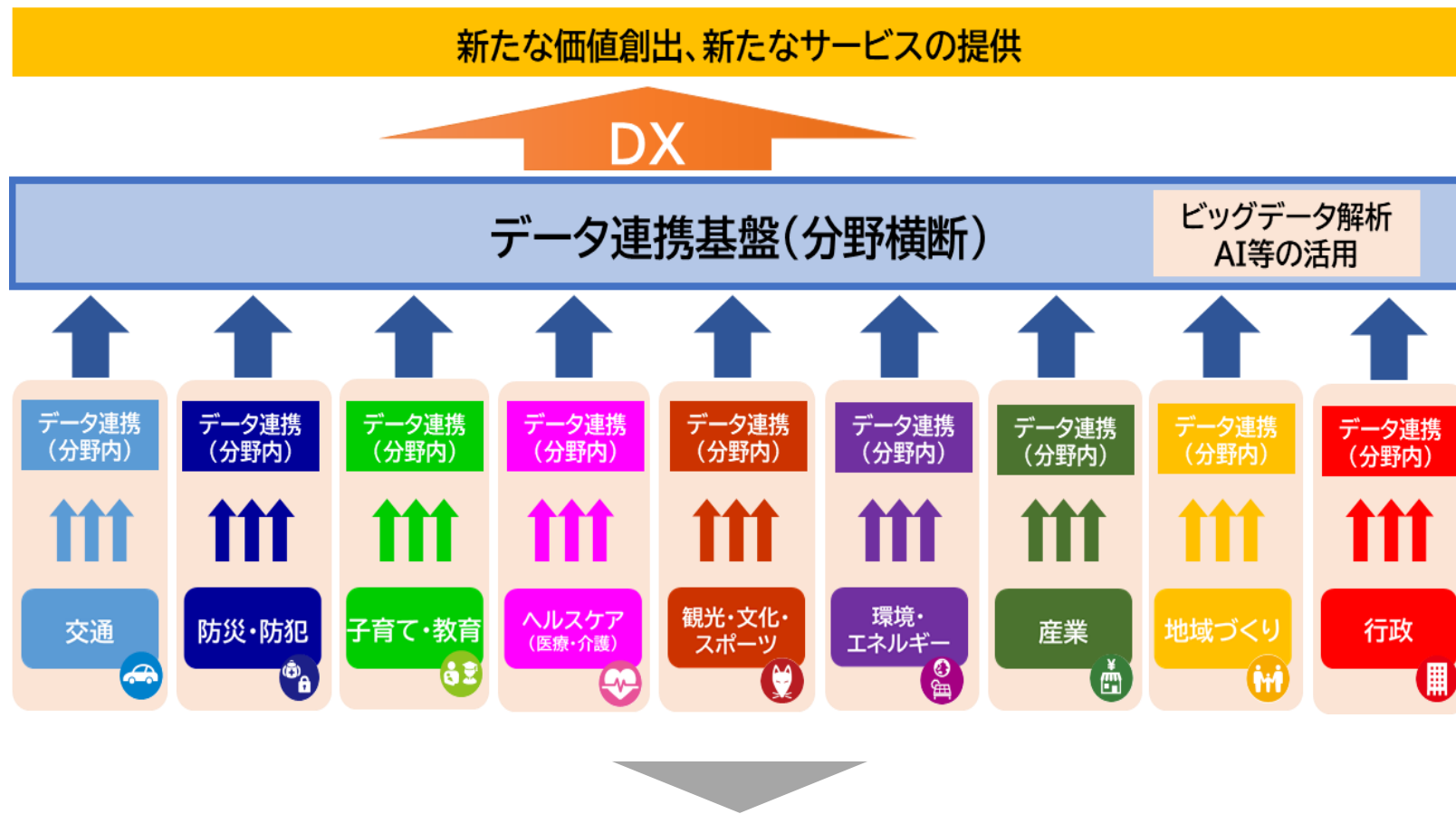
- ・ 国において、年内に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、構想の中長期的な基本的方向を提示する「デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」を策定予定。
- ・ 地方公共団体においては、新たな状況下で目指すべき地域像を再構築し、地方版総合戦略を改定し、具体的な取組を推進することが求められています。

本市は、第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「V 便利で豊かな創造社会の構築 ～Society5.0を見据えた対応～」を位置付け済み。
あわせて、令和4年3月に「山口市スマートシティ推進ビジョン」（次頁）を策定済み。

③ スマートシティの推進

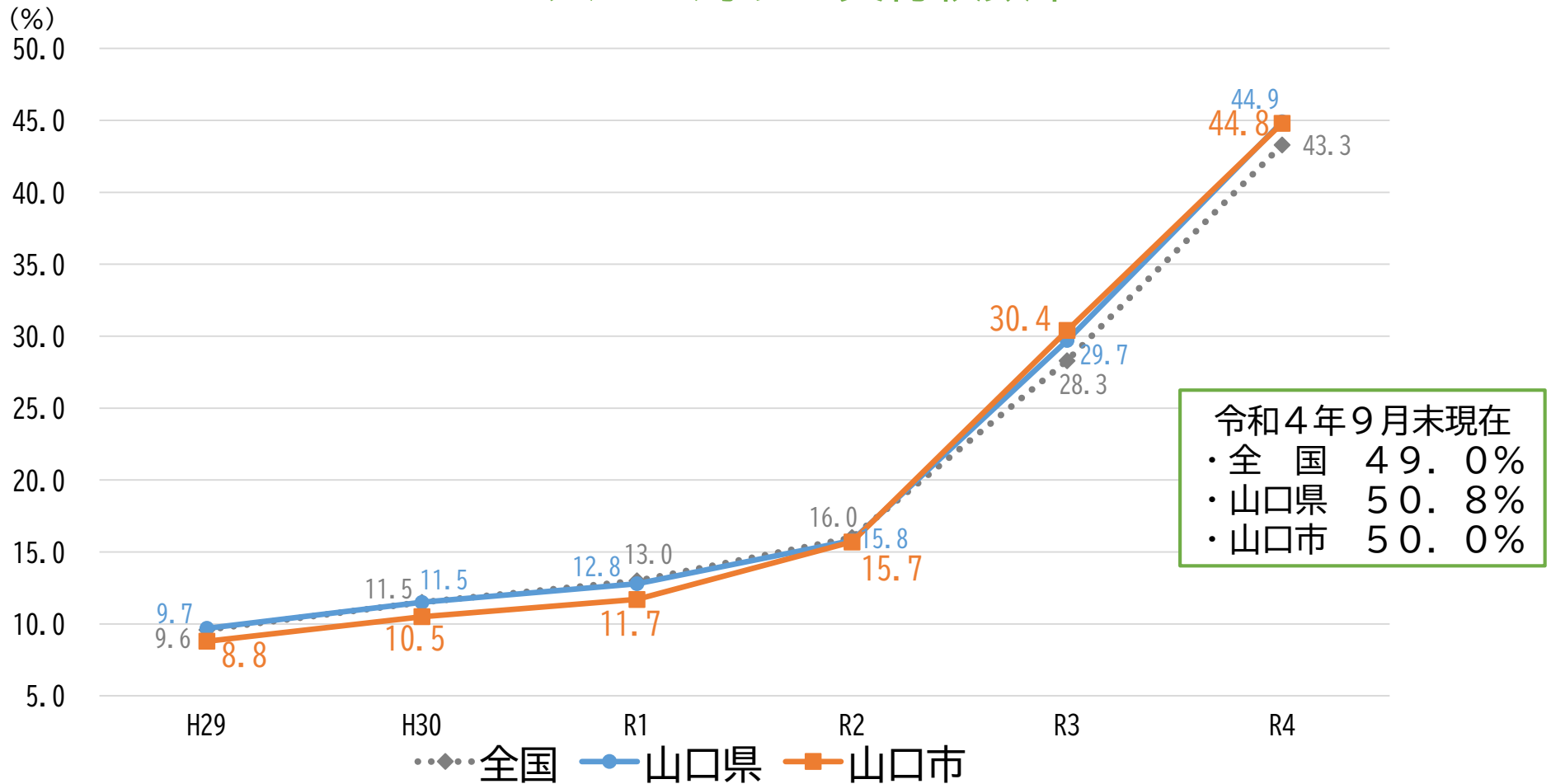
- ・「山口市スマートシティ推進ビジョン(山口市官民データ活用推進計画)」を令和4年3月に策定。

「スマート“ライフ”シティ山口」の実現



- ・「スマート“ライフ”シティ山口」の実現を引き続き進めていく必要性

④ マイナンバーカードの人口に対する交付枚数率

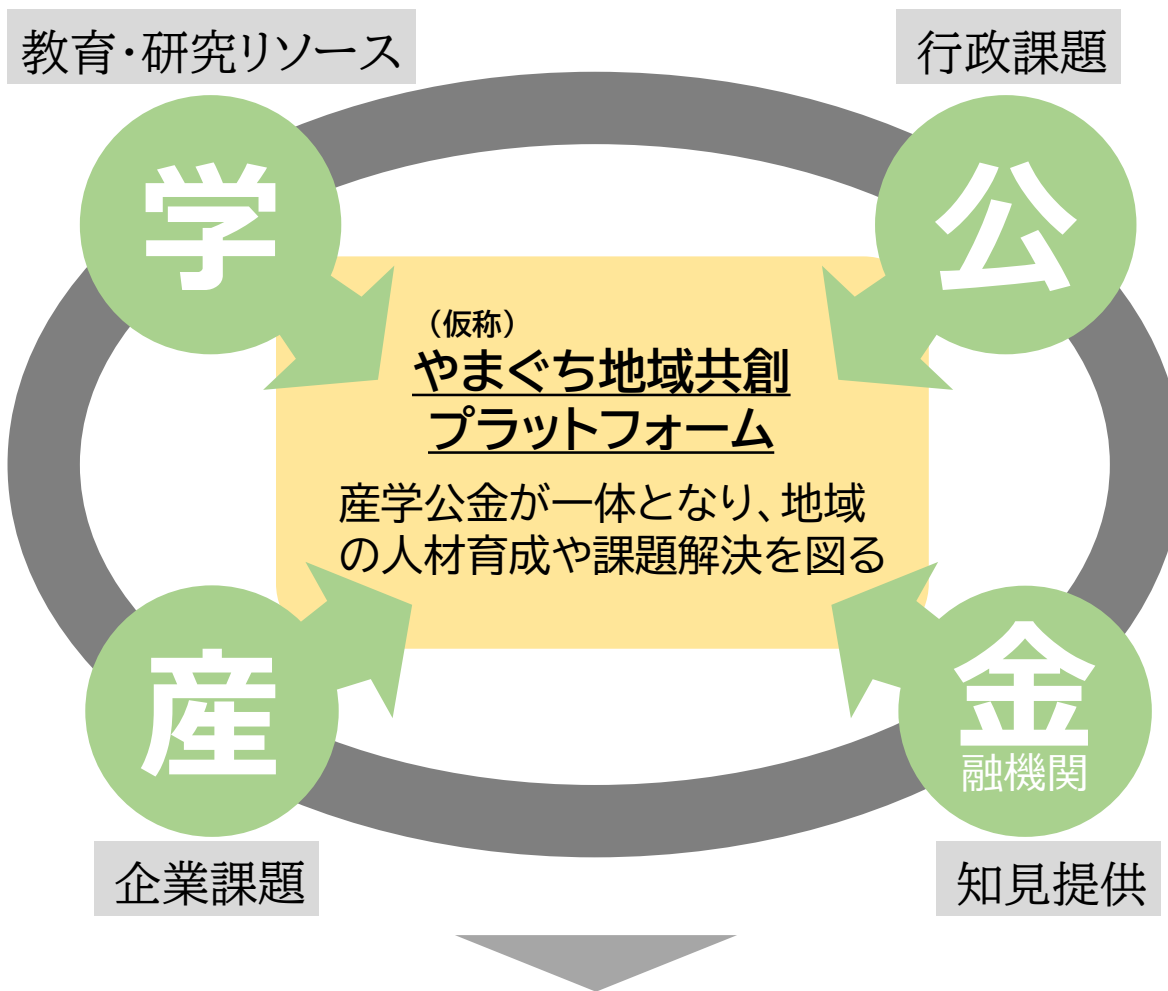


(資料) 総務省「マイナンバーカード交付状況」 各年4月1日時点の交付枚数と前年1月1日時点の人口により算出。
 なお、平成29年度は8月31日時点、平成30年度は7月1時点の数値。

- ・ マイナンバーカードの普及促進に向けた更なる取組の必要性
- ・ マイナンバーカードの取得を希望するすべての市民への交付に向けた取組の必要性

⑤ 大学との連携

第1回(仮称)やまぐち地域共創プラットフォーム全体会議
令和4年11月1日(火)開催予定



- ・ まち、キャンパス、ひとを共につくる取組を強化する必要性
- ・ 「学園都市山口」、3つの大学・専門学校等が立地する本市の特性をのばしていく必要性

Ⅲ 今後の予定

1 策定協議会の今後の予定

報告内容等は、変更となる可能性があります。

- | | |
|--|--|
| 第7回（令和4年10月27日（木））
15：00－17：30（予定）防長苑にて | ・まちづくりの状況（協働・行政分野）
・骨子案について
・各委員からの話題提供（4人）
安光 忠彦 委員（地域自治）、粉川 妙 委員（地域活性化）、
手嶋 郁夫 委員（行政）、郡 さやか 委員（公募） |
| 第8回（令和4年11月17日（木））
15：00－17：00 防長苑にて | 素案について |
| 第9回（令和5年1月上旬）

令和5年2月上旬 | 最終案について

答申 |

2 後期基本計画策定のスケジュール

